

令和8年10月19日
長寿社会課長 窪田 譲
内線 4040
外線 076-225-1415

令和8年度エイジレス章及び社会参加章伝達式について

内閣府では、年齢にとらわれず自らの責任と能力において自由に生き生きとした生活を送る高齢者（エイジレス・ライフ実践者）や、高齢者が中心となり社会参加活動を積極的に行っている団体を毎年表章し、長寿社会を生き生きと暮らす好事例として広く紹介している。

このたび、本県が推薦し、令和8年度の紹介事例に決定した個人1名に対して「エイジレス章」、3団体に対して「社会参加章」が交付されることとなり、知事より伝達を行う。

1 日 時 令和8年10月21日（水）15時30分から

2 場 所 県庁行政庁舎4階 特別会議室

3 伝達者 知事

4 受章者 エイジレス章 こくぶん たにひこ 國分 谷彦（能美市）

社会参加章 ひがしますほろうじんかい 東増穂老人会（志賀町）

たかしな だいこ 高階くれない太鼓（七尾市）

かなざわじょう けんろくえんけんきゅうかい 金沢城・兼六園研究会（金沢市）

5 伝達品 内閣府特命担当大臣名の書状及び楯

6 受章者の活動概要

エイジレス章 國分 谷彦

平成 10 年に「タント演劇学校」を設立し、30 年近くにわたり演劇活動を継続してきた。能美市の歴史調査をもとにしたオリジナル脚本の制作や公演を行い、市の魅力発信にも寄与している。また、多世代・団体間交流を積極的に進め、不登校の若者を受け入れるなど、演劇を通じた心のケアや居場所づくりにも取り組んでいる。自ら企画・宣伝を行い、演劇文化を根付かせる努力を続け地域に貢献する姿勢は、これからの地域づくりのモデルとなっている。令和 6 年度には「石川地域づくり表彰」を受賞し、その功績は地域から高く評価されている。

社会参加章 東増穂老人会

地区内の 5 つの老人クラブで結成。地区公民館と協力し、著名人等による講演会やコンサートを行う「高齢者学級」を開催し、新たな知識習得、仲間づくり、異なる世代間交流の促進を図っている。能登半島地震発生後は、地区内の仮設住宅に居住する会員以外の高齢者も参加し、交流を図ることで孤立を防ぎ、住民が支え合い安心して暮らせるコミュニティづくりに寄与している。

また、地区ごとに集会所や神社の清掃活動、花壇の手入れを行い、地域のニーズにあった活動を実施しており、地域のボランティア活動に積極的に取り組んでいるほか、ペタンクやスカットボール等のレクリエーション大会を開催し、健康づくりにも取り組んでいる。

こうした多面的な活動は、高齢者の生きがい創出や地域の支え合いを促し、住みよいまちづくりに大きく貢献している。

社会参加章 高階くれない太鼓

公民館で太鼓を楽しむ子どもたちの姿に心を動かされ、当初女性 5 人で結成されたグループ。結成当初は地域の催しへの参加から始まり、現在では市のイベントや福祉施設での演奏、障害者施設での太鼓指導等の活動を行っている。コロナ禍や能登半島地震で練習場所が確保できない時期もあったが、月 2 回の練習とボランティア活動を継続している。

30 年にわたり女性だけで活動を続け、高齢者や子どもたちとの世代間交流、障害者施設での太鼓指導などを通じて、地域のつながりづくりや共生社会の推進に大きく貢献している。

社会参加章 金沢城・兼六園研究会

金沢城・兼六園を愛する市民ボランティアとして、行政と連携しながら文化財の魅力を市民目線で研究・発信している。平成 3 年の発足以来 30 年以上活動を続け、研究文集『きくざくら』の発行や学習会の開催を通じて知識を深め合い、現在は 132 名の会員が活躍。県民大学校への講師派遣や「大名庭園サミット民間交流協議会」への加盟など、専門性を生かした全国的な交流も積極的に展開。令和 6 年度には金沢市との協働事業として、児童向けガイドブックの改訂やデジタル化にも取り組み、次世代への文化財普及にも力を入れている。同年度に県が実施する「石川地域づくり表彰」を受賞し、地域づくりの観点からも高く評価されている。

長年の研究と実践に基づく活動は、市民の郷土への誇りを育み、文化財を守り伝える気運の醸成に大きく貢献している。